

令和元年度 第3回伊賀市文化財保護審議会会議録

日 時 令和2年2月10日(月) 13時30分から15時40分まで

場 所 伊賀市役所4階会議室406

出席者 滝井利彰会長 四辻秀紀委員 福田良彦委員 佐々木聖佳委員 穂積裕昌委員
瀧川和也委員 長村祥知委員 平山大輔委員

事務局 中林事務局長 笠井課長 福島主幹 其道主査

傍聴 2名

1. 開会の挨拶

中林事務局長

2. 報告事項(別添の資料1により説明)

(1) 文化財保護関係事業について

※資料の確認で、資料2の5頁の次が9頁となる訂正を伝えた。

令和元年度事業について報告(以下事業の進捗状況について説明)

- ・国史跡 伊賀国庁跡 基本設計策定事業(国補助)
- ・国重無 上野天神祭のダンジリ行事 民俗文化財伝承・活用等事業(国補助)
- ・重文 町井家住宅主屋・書院防災設備保守点検事業(国補助)
- ・重文 猪田神社本殿 建造物保存修理事業(国補助)
- ・重文 猪田神社本殿 建造物防災施設等事業(国補助)
- ・県指定 春日神社 拝殿保存修理事業(県補助)

(委員からの意見等については以下のとおり)

委 員：福居町の水引幕の図柄は龍でしたか？

事務局：中国の絵画「西園雅集図」です。

委 員：町井家住宅のき損への対応についてはどうですか？

事務局：小規模な部分的な修理になるが、今すぐということではなく、しかるべき時期に面的修理をやっていきます。

委 員：当面は経過観察ということですね。いたずらのないよう周知願います。

(2) 埋蔵文化財保護関係事業について

試掘調査17件、立会調査8件について報告

(委員からの意見等については以下のとおり)

委 員：上野城下町で集合住宅の需要はあるようですね。

委 員：太陽光発電は個人の土地でされるのですか？

事務局：狭い土地で単管設置の際に立会をしています。

委員：伊賀市は中世城館がたくさん所在することが伊賀の特徴として、所有者も理解してくれる方向でお願いします。

委員：電柱建柱は、中部電力ですか？

事務局：そうです。深さ2～3m。コンクリート柱や人力で掘削する場合があります。

(3) 指定文化財の現状変更等について

①国指定文化財

有形(4件) 史跡(名勝)5件

天然記念物 オオサンショウウオ(19件)、ヤマネ(1件)

②県指定文化財

有形文化財(18件)

③市指定文化財

有形文化財(6件)

記念物(名勝)(1件)

天然記念物(2件)

史跡(1件)

(委員からの意見等については以下のとおり)

委員：御墓山古墳について大阪大学の測量にかかる現状変更とは何か？

事務局：杭打ちによる変更です。

委員：上野高校についての現状変更の内容は何か？

委員：機械警備に代えるため、警備会社がドリルで床に穴をあけてケーブルを通してました。

委員：ネズミによる誤発報があるかもしれない。

事務局：県を通じて確認させていただきます。

委員：上野高校正門門扉の鏡板について

事務局：仮修理で外れた箇所を留めました。

(4) 調査について

有形文化財(24件)

民俗文化財(10件)

記念物(4件)

(委員からの意見等については以下のとおり)

委員：丸柱伊賀焼窯の場所はどこですか？

事務局：諏訪神社境内の東端です。昭和40年代の窯跡・煙突の風景が丸柱のそこにしかありません。丸柱地域の宝として残していきたいです。

委員：西町集議所は竹を全て除去したか。

事務局：竹の根も除去しました。シロアリはいませんでした。風通し良くすれば改善できます。

委員：街の中には動物が多い。悪いことをされないようにする必要があります。

委員：穴石神社の盗難について、豊橋市は大きさ、写真等情報をSNSでシェアしている。指定されたものの保護はいろんな形で取り組んでいて、盗難等に対し目を光らせている。盗難に対する注意喚起と毅然とした対応が必要である。

(15分休憩)

3. 協議事項（別添の資料2により説明）

・伊賀市新指定文化財候補について

① 伊賀のカンジョウナワ行事について

事務局より文化財指定に向けて、同意状況と現況確認調査を行っていることを報告した。10地区のうち、1地区同意が得られていなく、調査も1地区までであるので、次年度10地区まとめて文化財指定していけるよう調査を継続することになった。

（委員からの意見等については以下のとおり）

委員：地域の人まじりである。ある地区の行事では、別の伝承地区から見学にいられていたの、指定になればそういう交流ができると良い。

委員：伝統行事は継承が大事である。皆さんで知恵を出してほしい。上野天神祭の大御幣の持ち手の大縄もどこかの地区の勧請縄の作り手に頼っていると聞いている。そのような祭間の交流が大事である。

② 下郡遺跡出土木簡について

穂積委員より調査票をもとに説明。文化財に指定していくことで了解を得た。

委員：赤外線でも読み取れた文字がある。

委員：いつ出土し、いつ保存処理され、今はどのような状態か？

事務局：昭和53年に出土し、平成4年以前に保存処理され、現状は良好な状態です。

委員：地方で徴税・役所に関わる木簡が出土するのは貴重である。

③ 旧上野市庁舎設計図について

事務局・滝井委員より調査票をもとに説明。文化財に指定していくことで了解を得た。

委員：昭和34年、38年、39年と3種類残っているのは珍しい。昭和34年の物は、少し今とは違う形の図面で、製作者が悩んでいた過程を示す貴重な資料である。

委員：員数を分りやすくした方が良い。

事務局：14頁目以降の資料に書いてある。管財課から譲り受け青山支所の歴史資料系の書庫で保管しています。

委員：状態が良くないと聞いている。デジタル化について三重県総合博物館が協力する。

4. その他

事務局より報告

- ・ 柘植歴史民俗資料館が3月末で閉館します。
- ・ 三重県との連携事業を庁舎内で実施した。今年度は「壬申の乱と古代の伊賀」と題して開催し、約450名の来場がありました。
- ・ 三重県総合博物館では県内の仏像を展示し、市内のものも多く出品されました。
- ・ 次年度の指定候補として、旧上野市庁舎のミュージックサイレン。発祥は浜松市で現在4箇所残っている。あと上野公園内の植物として、イガザサ、ヒメカンアオイ、ヒナラン、シユンランなどがあります。

(委員からの意見等については以下のとおり)

委員：ミュージックサイレンを指定していくことは、画期的で地元で根ざしたものである。

委員：分類として歴史資料なのか、有形民俗なのか。学習するところから始める必要がある。

委員：両者とも次回の審議会には資料を揃えてください。

次回の審議会 令和2年6月23日（火）午後1時30分からで決定。

5. 閉会の挨拶

笠井課長